

## 島根県官民データ活用推進計画（案）へのご意見に対する県の考え方

No	ご意見の要旨	ご意見に対する県の考え方
1	<p>社会インフラを支えているコンクリート構造物は、中性化やアルカリ骨材反応、塩害などの化学的原因や、地震などの物理的原因により経年劣化・損傷が発生しており、これらはひび割れから浮き・剥離・剥落へと進行し、構造破壊を伴って安全・安心を脅かす社会問題となっており、緊急性が高い。</p> <p>このような状況の中、仮に県が保有する橋梁等の公共土木施設の点検結果や劣化状況、修繕結果などのデータが公開されれば、民間会社は今後の補修・修繕案件を予測することができ、効率的でスピーディ、かつ低コストでインフラの長寿命化に取り組むことができると考える。</p> <p>島根県は橋梁アセットマネジメントシステムというものを所有し、橋梁の諸元、点検結果、写真、劣化予測、補修計画、修繕結果などのデータを管理していると伺っている。例えばこのデータをメンテナンス事業に携わっている民間会社に公開していただくことにより、官民協力した地域課題解決に繋がると考える。</p> <p>橋梁に拘らず、その他のデータ等も含めて公開に向けた検討をお願いしたい。</p>	<p>島根県の公共土木施設は、島根県公共土木施設長寿命化計画に基づき、橋梁、トンネル等、7分野14施設において点検結果による「個別の施設計画」を策定し、ホームページで公開しています。</p> <p>構造物の老朽化が社会問題であることはご指摘のとおりであり、「個別の施設計画」に沿って修繕することにより、投資する予算を平準化し、コスト縮減につながっていると考えております。</p> <p>島根県橋梁アセットマネジメントシステムは、現在「島根県公共土木施設維持管理システム」として橋梁以外の施設も含めて運用していますが、位置図や状況写真等で個人情報が含まれているものがあり、これらのデータは公開するに至っていません。</p> <p>一方で島根県では計画（案）のp.23～24にあるとおり、県保有データを誰もが無償で利用・加工できる“オープンデータ”として公開できるよう取り組んでいるところです。上記管理システムで保有するデータを、個人情報等を除いた形でオープンデータ化することにより、官民一体となった効率的な対策も実現可能であると考えておりますので、今後検討して参ります。</p>